



事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人正覚会 		
事業所名	グループホームライフケア黒森		
介護サービスの種類	認知症対応型共同生活介護	定員数	9名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] NDソフトウェア㈱ ベッドセンサーバイタルビーツ [導入台数] 8台		
事業完了日（導入日）	令和5年1月25日 		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	グループホームライフケア黒森において、全ての入居者の就寝時や午睡の際に使用している。 使用する業務として ・入居者の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・職員の負担を軽減する。 ・可視化した情報をもとに根拠に基づきケアを行うことで、認知症ケアの専門性を深めていく。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	導入後に職員にアンケートを実施する。 ・就寝中のバイタルサインをひとつの目安として確認することが出来、入居者のみならず職員の安心に繋がった。転倒などの事故防止にも役立てることができると思う。 ・夜間帯の入居者の情報からある程度行動が予測できるようになり、トイレ誘導や離床の声かけがやりやすくなった。 ・訪室の回数が少なく、入居者の安眠にも繋がっていると思う。 ・2時間おきの安全確認時以外のこまめな見回りが、センサー感知した時の対応である程度把握できたので業務軽減になっている。 ・室温が画面上で把握できるので訪室回数が減り、業務軽減になっている。 ・離床着床センサーのように、居室内で音が出ないので、入眠を妨げたり、入居者に違和感なく使用することができた。 ・入居者の状態がある程度把握できるので、他の業務に時間を使えるようになった。		

<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）を職員間で共有し、業務の効率化と職員の負担軽減を図る。 ・入居者個々の入眠状況や夜間帯の様子を把握して、日中の活動量や生活リズムとの関連性について課題を整理する。 <p>2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の情報をもとにタイムテーブルの見直しを行い、業務の効率化と職員の負担軽減を図る。 ・入居者個々の1日を通した生活リズムを分析し、根拠に基づいたケアを提供する。 <p>3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムテーブル変更後や職員の身体的・精神的負担軽減について効果を検証していく。 ・職員が根拠に基づき、職員が自信ややりがいを持って認知症ケアを実践することができる。
-------------------------	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ~ 年 月 日		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ほか <input type="checkbox"/> 名
令和4年4月	業務の状況分析と問題点の洗い出しを行う。	管理者ほか6名
令和4年4月	機種選定と導入計画の検討を行う。 事業所で使用している介護用ソフト「NDソフトウェアほのぼのNEXT」やタブレット端末との連動が可能なことを確認し、入眠状況の可視化のための機器について情報を収集し、導入に向けて検討した。	管理者ほか6名
令和4年6月	導入担当者とチーム体制の整備を行う。 主担当者；管理者 導入・活用・効果検証担当者；管理者、副主任	管理者、副主任
令和4年6月	実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取	管理者ほか6名
令和4年8月	事前協議書の提出 協議書受付・内示の通知	管理者
令和4年11月	交付申請書の提出	管理者
令和4年12月	交付審査・交付決定	管理者

令和5年1月25日	導入機器の納品 設置と操作説明を受ける	管理者ほか2名
令和5年1月	全職員に使用方法の周知を行う。マニュアルの整備。	管理者ほか6名
令和5年2月	アンケートの実施 ベッドセンサーバイタルビーツを使用してみた の感想や効果、今後の展開、操作等の不明点に ついて職員にアンケートを実施する。	管理者ほか6名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	特別養護老人ホームさくらホーム天童【事業所番号：0671601011】		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス	定員数	80名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠りSCAN [導入台数] 80台		
事業完了日（導入日）	令和5年2月1日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	施設環境としては、構造上、①ユニット入口から全居室入口に対する目視ができない。②ユニット同士が平行にレイアウトされているため、ユニット間での見守りが困難である。協議時のアンケートでは、構造上、見守りのしづらさを少し感じる、おおいに感じると答えた職員は、100%。上記の①②の理由から、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯（夜勤業務）の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	導入後（2週間後）のアンケートでは、眠りSCAN導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されたと答えた職員は、93.1%となった。また、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠りSCANの活用は、リスク軽減につながっているとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、100%となった。以上の結果と上記の①②から、80床に対し、眠りSCAN 80台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠りSCAN導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果（訪室への時間等）、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、聞き取りをし、記録にまとめる。次年度も継続する。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年8月1日 ～令和4年8月20日	施設長、介護係長、ユニットリーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）の選定、実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。	施設長ほか
令和5年2月1日	機器導入。開発メーカーからの取扱い説明を介護係長が受け、後日、職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）を実施。	機器設置者 施設長ほか
令和5年2月2日 ～令和5年2月14日	導入によるケア方法（見守り業務）の見直しを実施。	施設長ほか
令和5年2月17日 ～令和5年2月24日	導入2週間後での効果検証のためのアンケートを実施。実績報告。	施設長ほか

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	短期入所生活介護事業所さくらホーム天童 【事業所番号：0671601094】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護事業所	定員数	20名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠りSCAN [導入台数] 20台		
事業完了日（導入日）	令和5年2月1日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	施設環境としては、構造上、①ユニット入口から全居室入口に対する目視ができない。②ユニットが1、2階にレイアウトされているため、ユニット間での見守りが困難である。協議時のアンケートでは、構造上、見守りのしづらさを少し感じる、おおいに感じると答えた職員は、100%。上記の①②の理由から、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯（夜勤業務）の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	導入後（2週間後）のアンケートでは、眠りSCAN導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されたと答えた職員は、100%となった。また、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠りSCANの活用は、リスク軽減につながっているとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、83.3%となった。以上の結果と上記の①②から、20床に対し、眠りSCAN20台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠りSCAN導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果（訪室への時間等）、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、聞き取りをし、記録にまとめる。次年度も継続する。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年8月1日 ～令和4年8月20日	施設長、介護係長、ユニットリーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）の選定、実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。	施設長ほか
令和5年2月1日	機器導入。開発メーカーからの取扱い説明を介護係長が受け、後日、職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）を実施。	機器設置者 施設長ほか
令和5年2月2日 ～令和5年2月14日	導入によるケア方法（見守り業務）の見直しを実施。	施設長ほか
令和5年2月17日 ～令和5年2月24日	導入2週間後での効果検証のためのアンケートを実施。実績報告。	施設長ほか

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人羽黒百寿会		
事業所名	特別養護老人ホームかみじ荘		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	50名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] ・自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife (カメラセンサー、生体センサー) ・モバイル端末 (富士通 arrows BZ02) ※設定料及び関連工事費含む [導入台数] ・IRセンサーユニット (生体センサー含む) 5台、スマートフォン 15台		
事業完了日 (導入日)	令和 5年 3月 24日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 ・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の見守り業務だけでなく、日中の体調不良の入所者等の見守り業務にも自立支援型見守りロボットを使用している。 ・使用頻度は、夜間ナースコールがあった際や定時巡視の際等にモバイル端末で、一日に何度も使用している。日中も複数の職員が、モバイル端末で見守り業務を何度も行っている。 		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと (介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度など)	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型見守りロボットを導入したことで、センサーユニットによる入所者の様子が把握できるようになり、訪室回数を削減でき、夜勤担当職員の負担軽減になっている。 ・日中も複数の職員がモバイル端末で見守り業務ができるようになり、一日を通して、入所者の安全性の向上にもつながっている。 		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<p><u>課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モバイル端末の見守り機能に慣れていない職員 (特に年配の職員) がおり、介護職員全員が熟知し使いこなせるまでに至っていない。 <p><u>次年度に向けた計画</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife 及びモバイル端末の使用方法についての個別指導や研修会を行い、介護現場の職員全員が熟知し、入所者に対する安全性を向上させていきたい。 		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年4月1日～ 令和4年6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人羽黒百寿会総務部総務課長 鱸（ｽｽﾞｷ）を中心に特別養護老人ホームかみじ荘（以下「特養」という。）の運営を担う入所介護部入所介護部長 寒河江、入所課長 今井、特養課長 菅原、総務部事務係長 山口が、特養における介護ロボット機器導入に向けた検討を進める。 ・介護現場で働く職員に対して、問題点や要望（導入機器や環境等の希望）を聴取する。 	ほか4名
令和4年7月1日～ 令和4年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員からの要望に沿う機器を導入する為、取引業者に相談の上、機種を選定・導入時期及び環境の整備時期についての計画を検討する。 ・機種を選定については、実際に使用する職員（介護士、看護師）からの意見も取り入れる。 ・導入する機器を「自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife」とする。理由として、居室ベッドごとの見守りが可能で、機能も個人情報に配慮されたプライバシー保護映像である為。 	ほか1名
令和4年10月1日～ 令和4年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・導入機器を実際に使用する職員に対する使用方法についての研修計画を検討する。 	ほか1名
令和4年12月1日～ 令和5年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・選定した介護ロボット機器の導入と必要となる環境整備の為の工事を施工する。導入計画では令和5年1月末までの導入となっていたが、施工業者の繁忙により納品が遅れた。 	ほか1名
令和5年3月24日～	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife の使用を開始する。 	ほか職員24名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人羽黒百寿会		
事業所名	ユニット型特別養護老人ホームかみじ荘		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	30名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] ・自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife (カメラセンサー、生体センサー) ・モバイル端末 (富士通 arrows BZ02) ※設定料及び関連工事費含む [導入台数] ・IRセンサーユニット (生体センサー含む) 5台、スマートフォン 10台		
事業完了日 (導入日)	令和 5年 3月 24日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	・夜間の見守り業務だけでなく、日中の体調不良の入居者等の見守り業務にも自立支援型見守りロボットを使用している。 ・使用頻度は、夜間ナースコールがあった際や定時巡視の際等にモバイル端末で、一日に何度も使用している。日中も複数の職員が、モバイル端末で見守り業務を何度も行っている。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと (介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度など)	・自立支援型見守りロボットを導入したことで、センサーユニットによる入居者の様子が把握できるようになり、訪室回数を削減でき、夜勤担当職員の負担軽減になっている。 ・日中も複数の職員がモバイル端末で見守り業務ができるようになり、一日を通して、入居者の安全性の向上にもつながっている。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<u>課題</u> ・モバイル端末の見守り機能に慣れていない職員 (特に年配の職員) がおり、介護職員全員が熟知し使いこなせるまでに至っていない。 <u>次年度に向けた計画</u> ・自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife 及びモバイル端末の使用方法についての個別指導や研修会を行い、介護現場の職員全員が熟知し、入居者に対する安全性を向上させていきたい。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年4月1日～ 令和4年6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人羽黒百寿会総務部総務課長 鱸（ｽﾌﾟﾙ）を中心にユニット型特別養護老人ホームかみじ荘（以下「ユニット特養」という。）の運営を担う入所介護部入所介護部長 寒河江、入所課長 今井、ユニット主幹 高橋、総務部事務係長 山口が、ユニット特養における介護ロボット機器導入に向けた検討を進める。 ・介護現場で働く職員に対して、問題点や要望（導入機器や環境等の希望）を聴取する。 	ほか4名
令和4年7月1日～ 令和4年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員からの要望に沿う機器を導入する為、取引業者に相談の上、機種を選定・導入時期及び環境の整備時期についての計画を検討する。 ・機種を選定については、実際に使用する職員（介護士、看護師）からの意見も取り入れる。 ・導入する機器を「自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife」とする。理由として、居室ベッドごとの見守りが可能で、機能も個人情報に配慮されたプライバシー保護映像である為。 	ほか1名
令和4年10月1日～ 令和4年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・導入機器を実際に使用する職員に対する使用方法についての研修計画を検討する。 	ほか1名
令和4年12月1日～ 令和5年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・選定した介護ロボット機器の導入と必要となる環境整備の為の工事を施工する。導入計画では令和5年1月末までの導入となっていたが、施工業者の繁忙により納品が遅れた。 	ほか1名
令和5年3月24日～	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife の使用を開始する。 	ほか職員16名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人羽黒百寿会		
事業所名	短期入所生活介護事業所かみじ荘		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	16名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] ・自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife (カメラセンサー、生体センサー) ・モバイル端末 (富士通 arrows BZ02) ※設定料及び関連工事費含む [導入台数] ・IRセンサーユニット (生体センサー含む) 5台、スマートフォン5台		
事業完了日 (導入日)	令和 5年 3月 24日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 ・ リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の見守り業務だけでなく、日中の体調不良の入所者等の見守り業務にも自立支援型見守りロボットを使用している。 ・使用頻度は、夜間ナースコールがあった際や定時巡視の際等にモバイル端末で、一日に何度も使用している。日中も複数の職員が、モバイル端末で見守り業務を何度も行っている。 		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと (介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度など)	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型見守りロボットを導入したことで、センサーユニットによる入所者の様子が把握できるようになり、訪室回数を削減でき、夜勤担当職員の負担軽減になっている。 ・日中も複数の職員がモバイル端末で見守り業務ができるようになり、一日を通して、入所者の安全性の向上にもつながっている。 		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<u>課題</u> <ul style="list-style-type: none"> ・モバイル端末の見守り機能に慣れていない職員 (特に年配の職員) がおり、介護職員全員が熟知し使いこなせるまでに至っていない。 <u>次年度に向けた計画</u> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife 及びモバイル端末の使用方法についての個別指導や研修会を行い、介護現場の職員全員が熟知し、入所者に対する安全性を向上させていきたい。 		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年4月1日～ 令和4年6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人羽黒百寿会総務部総務課長 鱈（ｽﾌﾟﾙ）を中心に短期入所生活介護事業所かみじ荘（以下「短期入所」という。）の運営を担う入所介護部入所介護部長 小林、入所課長 今井、特養課長 菅原、総務部事務係長 山口が、短期入所における介護ロボット機器導入に向けた検討を進める。 ・介護現場で働く職員に対して、問題点や要望（導入機器や環境等の希望）を聴取する。 	ほか4名
令和4年7月1日～ 令和4年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員からの要望に沿う機器を導入する為、取引業者に相談の上、機種を選定・導入時期及び環境の整備時期についての計画を検討する。 ・機種を選定については、実際に使用する職員（介護士、看護師）からの意見も取り入れる。 ・導入する機器を「自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife」とする。理由として、居室ベッドごとの見守りが可能で、機能も個人情報に配慮されたプライバシー保護映像である為。 	ほか1名
令和4年10月1日～ 令和4年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・導入機器を実際に使用する職員に対する使用方法についての研修計画を検討する。 	ほか1名
令和4年12月1日～ 令和5年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・選定した介護ロボット機器の導入と必要となる環境整備の為の工事を施工する。導入計画では令和5年1月末までの導入となっていたが、施工業者の繁忙により納品が遅れた。 	ほか1名
令和5年3月24日～	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife の使用を開始する。 	ほか職員6名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人羽黒百寿会		
事業所名	ユニット型短期入所生活介護事業所かみじ荘		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	10名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] ・自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife (カメラセンサー、生体センサー) ・モバイル端末 (富士通 arrows BZ02) ※設定料及び関連工事費含む [導入台数] ・IRセンサーユニット (生体センサー含む) 5台、スマートフォン5台		
事業完了日 (導入日)	令和 5年 3月 24日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	・夜間の見守り業務だけでなく、日中の体調不良の入居者等の見守り業務にも自立支援型見守りロボットを使用している。 ・使用頻度は、夜間ナースコールがあった際や定時巡視の際等にモバイル端末で、一日に何度も使用している。日中も複数の職員が、モバイル端末で見守り業務を何度も行っている。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと (介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度など)	・自立支援型見守りロボットを導入したことで、センサーユニットによる入居者の様子が把握できるようになり、訪室回数を削減でき、夜勤担当職員の負担軽減になっている。 ・日中も複数の職員がモバイル端末で見守り業務ができるようになり、一日を通して、入居者の安全性の向上にもつながっている。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<u>課題</u> ・モバイル端末の見守り機能に慣れていない職員 (特に年配の職員) がおり、介護職員全員が熟知し使いこなせるまでに至っていない。 <u>次年度に向けた計画</u> ・自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife 及びモバイル端末の使用方法についての個別指導や研修会を行い、介護現場の職員全員が熟知し、入居者に対する安全性を向上させていきたい。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年4月1日～ 令和4年6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人羽黒百寿会総務部総務課長 鱈（ｽﾌﾟﾙ）を中心にユニット型短期入所生活介護事業所かみじ荘（以下「ユニット短期」という。）の運営を担う入所介護部入所介護部長 小林、入所課長 今井、ユニット課長 伊藤、総務部事務係長 山口が、ユニット短期における介護ロボット機器導入に向けた検討を進める。 ・介護現場で働く職員に対して、問題点や要望（導入機器や環境等の希望）を聴取する。 	ほか4名
令和4年7月1日～ 令和4年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員からの要望に沿う機器を導入する為、取引業者に相談の上、機種を選定・導入時期及び環境の整備時期についての計画を検討する。 ・機種を選定については、実際に使用する職員（介護士、看護師）からの意見も取り入れる。 ・導入する機器を「自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife」とする。理由として、居室ベッドごとの見守りが可能で、機能も個人情報に配慮されたプライバシー保護映像である為。 	ほか1名
令和4年10月1日～ 令和4年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・導入機器を実際に使用する職員に対する使用方法についての研修計画を検討する。 	ほか1名
令和4年12月1日～ 令和5年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・選定した介護ロボット機器の導入と必要となる環境整備の為の工事を施工する。導入計画では令和5年1月末までの導入となっていたが、施工業者の繁忙により納品が遅れた。 	ほか1名
令和5年3月24日～	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援型見守りロボット A.I.Viewlife の使用を開始する。 	ほか職員5名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 一幸会		
事業所名	介護老人福祉施設 池幸園	【事業所番号：0670700392】	
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	80名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名] パラマウントベッド 3 モーター電動ベッド エスパシア (KA-N15711R 離床キャッチ付き、樹脂ボード) ナースコール中継ユニット NU-1 ユニティーネットワーク インターフェースボックス (ナースコールへ連動させるために必要)</p> <p>[導入台数]各 80 台</p>		
事業完了日（導入日）	令和5年3月22日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<p>ベッド内蔵のセンサーを活用している。 全台にセンサー内蔵となったため、現場従業員の判断での使用が可能となっている。 取扱いに関しては事前に2フロアそれぞれに1台ずつ先行導入し、使用方法の周知と実際に稼働し、動かしてもらうことで導入当日もほぼ混乱なく、スムーズに使用できた。</p>		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	<p>これまでセンサーの配線が業務の妨げになったり、断線することなどがあったが、配線が減少し、断線リスクも低減させることができています。</p> <p>これまでセンサーチェックを本体、配線の目視、できる場合は実際にセンサー感知させる方法で行っていたが、センサーのオンオフをベッドの操作を行うタッチパネルのランプで確認できるようになり、負担軽減につなげることができた。</p> <p>電源の入り切り忘れや配線コードが抜ける等の課題も解消することができた。</p> <p>ベッドが最低床になっているかどうかもタッチパネルのランプで目視できるようになり、ギャッチアップの角度も数値で確認できるようになったことから従業員からも分かりやすくなったと声が挙がっている。</p>		

導入後の課題や次年度計画の確認等	一部センサーが感知した際にコールを受けるスマホに通知が届かないケースがみられており、業者とともに確認している。 機器のためこういった不具合はこれからも0になることはないため、不具合時の報告やその後の対応を的確に行える体制を継続していくことが課題である。
------------------	---

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年2月28日	各フロア1台ずつ計2台ベッド先行導入 使用方法の周知開始	
令和5年3月15日	インターフェースボックス80台納入 ベッド2階フロア40台導入、稼働開始	
令和5年3月22日	ベッド3階フロア40台導入、稼働開始	

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ江保		
介護サービスの種類	短期入所生活介護事業所	定員数	15名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠りSCAN eye、ThinkCentre M70s [導入台数] 眠りSCAN eye(1台)、PC(1台)		
事業完了日(導入日)	令和5年3月2日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	見守りロボットのために、常に使用する予定です。 対象者が室内にいる際に有効活用出来るかと思えます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	まだ、導入したばかりで本格的に稼働しておりません。まずは、導入した「眠りSCAN eye」の機能をスタッフに知ってもらい、その機能をどの様に有効利用できるかを考えていっているところです。現時点では導入効果の検証は出来ません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN eye」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
平成 29 年 11 月～	「平成 29 年度福工連携による安心介護モデル創出事業費補助金」を使用して「眠り SCAN」導入。(14 台)	
令和 2 年 10 月 1 日～	弊社グループ内施設、「眠り SCAN」ユーザー施設の勉強会（情報交換会）発足。	
平成 29 年 12 月 1 日～ 令和 4 年 8 月 1 日	「眠り SCAN」の増台。3～5 台程度を数回にわたって購入。現在は全床設置済み。	
平成 31 年 6 月 1 日	「眠り SCAN eye」デモ機を借りて試験利用。	
平成 31 年 6 月 20 日～	スタッフへ聞き取りして機種決定。「眠り SCAN eye」参考見積を取る。	
令和 4 年 8 月 1 日～ 令和 4 年 8 月 29 日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和 4 年 12 月 21 日～	交付決定。発注。	
令和 5 年 1 月 30 日	スタッフへアンケート調査	12 名
令和 5 年 2 月 28 日	「眠り SCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20 名
令和 5 年 3 月 2 日	機器搬入、取扱い説明	3 名
令和 5 年 3 月 13 日～	機器設置、試験運用	10 名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレホーム天童		
介護サービスの種類	短期入所生活介護事業所	定員数	27名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠りSCAN eye [導入台数] 眠りSCAN eye(5台)		
事業完了日(導入日)	令和5年3月3日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	既存眠りSCANに接続して見守りのために、常に使用する予定です。 対象者が室内にいる際に有効活用出来るかと思えます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	今回導入以前にも「眠りSCAN eye」を使用しており、スタッフは「眠りSCAN eye」の便利さを熟知しておりました。今回5台の追加導入をさせて頂きましたが、注視すべき不穏な利用者に対して使用していく事を現在検討です。まだ、追加導入して間もないために本格的な運用はなされていません。 今後は、アンケートを取りながら下記目標の達成度の検証をしていきたい。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN eye」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN eye」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
平成 29 年 11 月～	「平成 29 年度福工連携による安心介護モデル創出事業費補助金」を使用して「眠り SCAN」導入。(14 台)	
令和 2 年 10 月 1 日～	弊社グループ内施設、「眠り SCAN」ユーザー施設の勉強会（情報交換会）発足。	
令和 2 年 12 月 1 日	「眠り SCAN eye」の導入（5 台）	
平成 29 年 5 月 1 日～ 令和 4 年 8 月 1 日	「眠り SCAN」の増台。3～5 台程度を数回にわたって購入。現在は全床設置済み。	
令和 3 年 1 月 1 日～	スタッフから「眠り SCAN eye」の増台の要望	
令和 4 年 8 月 1 日～ 令和 4 年 8 月 29 日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和 4 年 12 月 21 日	交付決定。発注。	
令和 5 年 1 月 30 日	スタッフへアンケート調査	12 名
令和 5 年 2 月 28 日	「眠り SCAN」基本勉強会 （弊社複数事業所合同勉強会）	20 名
令和 5 年 3 月 3 日	機器搬入、取扱い説明	2 名
令和 5 年 3 月 13 日～	機器設置、試験運用	10 名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人歓友会		
事業所名	小規模特別養護老人ホーム東部の郷		
介護サービスの種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	定員数	29名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] パラマウントベッド エスパシアシリーズ 離床 CATCH [導入台数] 3台		
事業完了日（導入日）	令和5年2月10日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	使う（介護職員）人数：20名 対象となる（利用者）人数：3名 使用頻度と場面：毎日 臥床時・就寝時		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	ベッドの導入により、利用者の離床・行動の把握、睡眠と覚醒状態の把握ができるようになった。 そのため、利用者の支援が必要なタイミングで絞って訪室することが可能となり、介護職員の身体的な負担の軽減や業務の効率化に繋がった。 離床感知により転倒・転落事故の減少、訪室回数の減少ができその他の業務を行える時間が増えた。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入に伴う職員研修やマニュアル作成によって、機器操作に習熟できるよう環境を整える。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
R4年 4月 日 ～ 年 月 日	赤外線センサーで対応しているが、設置する位置を考慮しないと誤報と不検知が起きてしまい、職員の負担となっている。	相談員 ユニットリーダー PT
R4年 5月 日 ～ 年 月 日	3ユニットあるので、各ユニットに1台ずつベッド内蔵荷重センサーを導入する事で安全性の向上が期待できるのではないかと検討。	相談員 ユニットリーダー PT
R4年 5月 日 ～ 年 月 日	ベッド1台で様々な検知と、通知したいタイミングに合わせて設定が可能になり職員の介護負担の軽減が図れる機種を選定の実施。	相談員 ユニットリーダー PT
R4年 6月 日 ～ 年 月 日	相談員・ユニットリーダー・PTを中心としてチーム体制を整備する。	相談員 ユニットリーダー PT
R4年 7月 8日 ～ R4年 7月19日	デモ機をレンタル。利用者と職員に実際に使用してもらい、良い点・悪い点を評価し意見聴取する。	介護職員 相談員・PT ユニットリーダー
R4年 8月25日 ～ 年 月 日	補助金事前申請。	
R4年11月10日 ～ 年 月 日	補助金交付申請。	
R4年12月21日 ～ 年 月 日	補助金交付決定。 パラマウントベッド エスパシアシリーズ 離床 CATCH 発注	
R5年 2月10日 ～ 年 月 日	パラマウントベッド エスパシアシリーズ 離床 CATCH 導入	
R5年 2月10日 ～ R5年 2月28日	事業所内で介護ロボットに係る職員研修の計画と実施。	介護職員 相談員・PT ユニットリーダー
R5年 3月 1日 ～ 年 月 日	毎月の月末評価（モニタリング）で評価する。必要に応じてケアの見直しを行う。	介護職員 相談員・PT ユニットリーダー

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 天童福祉厚生会		
事業所名	特別養護老人ホーム清幸園【事業所番号：0671600203】		
介護サービスの種類	介護福祉施設	定員数	80
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] ジーコムココヘルパNシステムソフトウェア用 マットセンサー・ベッドセンサー追加購入 [導入台数]マットセンサー8台・ベッドセンサー6台		
事業完了日（導入日）	令和5年2月20日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	令和元年にジーコムココヘルパNシステムソフトウェアを導入し、マットセンサー21台及びベッドセンサー27台を入所者の居室移動に合わせてWi-Fi受信、居室名の設定をその都度変更しながら使用している。介護従事者の負担となっている。 マットセンサー、ベッドセンサーの台数を増やし、すぐ使用できる状態で保管し、入所者の見守りの強化と介護従事者の負担軽減を図ることができる。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	導入後の介護従事者の満足度調査を実施した。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	利用者の状態に合った、適切なセンサーマットの使用の確認について、正しい設置場所や使用方法の確認をグループ会議で定期的に行う。 年度末にヒヤリハット報告書、介護事故報告書の分類集計し効果検証の結果に基づいた業務改善の取組を行う。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年12月1日 ～令和4年12月31日	業務の状況、問題点の洗い出し 介護従事者の意見聴取、機種選定	介護課
令和4年12月1日 ～令和4年12月21日	導入・活用・効果検証の担当者の整備 介護従事者の意見聴取 機種選定・導入計画の検討	介護事故対策 委員
令和4年12月21日 令和4年12月27日	機器決定、見積依頼 機器発注	介護課 総務課 総務課
令和5年1月30日	機器納品 マットセンサー8台 ベッドセンサー6台	
令和5年2月1日～	マニュアル整備 導入後のケア方法の見直し	介護課
令和5年3月1日 ～令和5年3月20日	介護従事者の満足度調査	介護事故対策 委員会

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人みゆき福祉会		
事業所名	指定短期入所生活介護所みずほの里		
介護サービスの種類	短期入所生活介護	定員数	20名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN 及び管理用ノートパソコン [導入台数] 眠り SCAN 5台 管理用ノートパソコン 1台		
事業完了日（導入日）	令和5年3月1日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	・令和5年3月1日納品完了し、当日機器説明会を実施。当日より試験運用を開始した。現在は夜間の利用者様の状況をタブレット端末にて確認をしている。今後は持ち運びの観点からスマホ端末への移行を検討している。 ・機器の効果的な使用方法を探るため、リスクの少ない利用者様から導入とした。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	○導入後(翌年)1年目 事故発生時の原因究明に活用ができ、転倒事故の減少が期待される。また、効果的な機器の使用方法を探るための検証を行っていく。 ○2年目 データ収集により、ご利用者への日中の関わり方が確立され、不要な夜間の訪室回数を減少させ、睡眠の質の向上が見込まれる。職員の不要な巡視が減少することで、身体的な負担も軽減される。 ○3年目 職員の身体的・精神的負担の軽減により、労働環境の改善が見込まれる。また、利用者家族への日中、夜間の状況の説明にも役立てていく。		

<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>職員の機器性能の理解がまだ浸透していない。今後は他の機器との連携等を探り、効果的な使用方法と利用者の選定について検討していく必要がある。</p> <p>本年度は一部ユニットへの導入となっているため他フロアへの導入も検討していく。</p>
-------------------------	---

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ~ 年 月 日		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ほか <input type="checkbox"/> 名
令和4年 4月～ 令和4年 10月	介護ロボット検討委員会（一回／月） 業務の状況分析・導入計画の検討	施設長他 6名
令和4年 12月	発注	
令和5年 3月 1日	納品・機器説明会・運用開始	介護職員 10名
令和5年 4月	使用職員アンケート実施	介護職員 20名
	介護ロボット検討委員会（一回／月）	施設長他 6名



※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 豊寿会 		
事業所名	特別養護老人ホーム 紅梅荘 【事業所番号：0672500360(多床室)・0672500865(ユニット型)】		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス	定員数	90人
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	〔製品名〕 電動昇降フルリクライニングキャリア FC-320 〔導入時期〕 令和5年1月31日 〔導入台数〕 2台		
事業完了日（導入日）	令和5年1月10日 		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	特殊浴槽機を使用する入浴業務に使用している。 日曜日を除く毎日使用し、電動昇降フルリクライニングキャリア（介護ロボット）での1日当たりの利用者は、不慣れもあって今のところ、経鼻経管栄養と寝たきり利用者3名から4名であるが、今後、特殊浴槽機入浴の対象者50名のうち半数以上としたい。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	ベッド、入浴ストレッチャーと移乗する電動昇降フルリクライニングキャリア（介護ロボット）の高さが合せられることで、職員の腰痛防止等負担軽減が図られた。また、2名の職員で移乗していたが、1名で行うことができるようになり、効率化も図られた。 利用者については、抱え上げられての移乗による転落の危険や不安は払拭され、職員、利用者とも安全と安心に繋がっている。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	スライドボードを使用した1名での移乗に不慣れのため、職員への講習や練習が必要である。 電動昇降フルリクライニングキャリア（介護ロボット）の利用者を、特殊浴槽機入浴の対象者50名のうち半数以上としたいので、さらに2台の追加購入を計画する。		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 ^{恩賜財団} 済生会支部山形県済生会		
事業所名	特別養護老人ホーム山静寿		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	100
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN/NN-1520 10台 モバイル端末 AQUOS sense4 SIM フリースマートフォン SH-M15 5台 [導入時期] 令和5年3月 [導入台数]		
事業完了日（導入日）	令和5年3月17日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	5ユニットに各2台ずつ眠り SCAN を配置。夜間不穏になる入居者様を中心に使用対象者を決定。入居者様のベッド上での状況データを活用し、生活状況の可視化や入居者様一人一人の睡眠状況を把握する事で夜間時のケアを覚醒しているタイミングで提供を行う。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	導入後の評価が短期間であった事もあり、十分な評価をできない部分はあった。入居者との関わりについては、2ユニットで若干増加したと評価。睡眠状況の確認・情報共有は4ユニットで円滑になったと評価。そのデータを基に排泄ケアについては、眠りの状況を見ながら入居者様ができるようになったと2ユニットで評価。生活リズムの改善についても3ユニットで繋がったと評価しており離床時間の変更等にも繋がっている。夜間帯の職員の精神的負担についても、呼吸や心拍数で急変がない事を確認できる等の理由で2ユニットで軽減したと評価している。（詳細は、別紙導入における満足度・効果調査参照）		
導入後の課題や次年度計画の確認等	【課題】 導入が年度末になった事もあり、短期間での評価となり、十分な検証までには至らなかった。次年度以降、データを蓄積し入居者様の生活リズムの改善、職員の負担軽減による労働環境の改善につなげていきたい。 【次年度計画】 ・入居者様の生活リズムの確認、夜間の睡眠状況のデータの活用を行い、日中・夜間のケアを見直す事で入居者様の睡眠の質の向上。 ・転倒、転落事故の防止		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年6月27日～ 令和4年7月10日	夜間不穏な入居者様が増えており、夜勤時の介護職員の負担となっている問題点及び改善の要望を確認。	主任介護職員 ほか全介護職員
令和4年7月15日～ 令和4年8月9日	上記問題点改善のため、職員・業者と検討やプレゼンテーション・デモ・職員へのアンケートを行い、導入を決定するとともに、見守り支援システム（眠りSCAN）及びモバイル端末を選定する。	事務担当者ほか 介護職員
令和4年8月29日	介護ロボット導入支援事業補助金に係る協議書提出	事務担当者
令和4年11月7日	介護ロボット導入支援事業補助金内示	
令和4年11月16日	介護ロボット導入支援事業補助金交付申請書提出	事務担当者
令和4年12月21日	介護ロボット導入支援事業補助金交付決定	
令和5年1月31日	眠りSCAN及びモバイル端末入札、購入業者決定	施設長ほか事務担当者
令和5年3月17日～ 令和5年3月31日	眠りSCAN及びモバイル端末納品、設定、運用開始 メーカーより説明会の実施及び操作マニュアルをもとに全介護職員が適正な操作方法・運用方法を習熟する。	全介護職員および事務担当者

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 河北福祉会		
事業所名	特別養護老人ホーム眺葉園【事業 0672300605】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	40
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]</p> <p>① ベッドセンサーシステムベーシック</p> <p>② 分配コンセント</p> <p>③ ビデオコード</p> <p>[導入時期] 令和5年 3月 21日 [導入台数] 5台</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○ 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<p>① 離床センサー(マット)を使用している認知症利用者5名。日々の静養時に利用。(日中・夜間)</p> <p>② 離床センサー(マット)に比べ、端坐位でも把握ができ、介護者が必要に応じて訪室している。また夜間の行動パターン把握等に使用している。</p>		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<p>① 利用者の離床前の端坐位、離床を確認ができナースコールとも連動していることから事故防止と見守り軽減に繋がっている。</p> <p>② 参考体重を常時測定可能なため利用者のご不便や介護職員の業務負担軽減に至っている。</p>		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<p>① キャスターの下にセンサーを置くことで、ベットの移動が容易に出来なくなり、シーツ交換、掃除等で手間がかかり今後の課題である。</p> <p>② 介助時のアラーム一時停止機能のオン・オフの入替を忘れることがある。</p> <p>③ センサー感度の適切な調整が必要であり、</p>		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
4年4月1日～ 4年4月30日	転倒原因の分析及び介護員夜間時の負担検討	施設長他 15名
4年5月1日 4年5月14日	ベットセンサーの導入検討 (ミネバアミツ(株))	介護長他 12名
4年5月15日	ベットセンサーデモ実施依頼 (ミネバアミツ(株))	
4年6月16日	ベッドセンサーデモ実施 (ミネバアミツ(株)黒宮主任補)	施設長他 7名
4年6月17日～ 4年6月30日	デモ参加者による意見聴取及び集約	
4年7月1日	ベットセンサーの見積もり依頼	
4年7月14日	業者によるベットセンサーの見積もり持参及び金額等の説明	
4年8月10日	主任会議にてベットセンサー及び補助金について説明	施設長他 12名
4年8月1日～ 4年8月16日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業補助金の申請について検討	
4年8月22日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業補助金に関わる協議の提出	
4年11月16日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業補助金交付申請	
5年3月23日	ベッドセンサーシステム導入	介護主任ほか 10名
5年3月23日～	アラーム設定、体重測定、履歴の確認方法の習得	介護長ほか 19名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 偕寿会		
事業所名	特別養護老人ホーム 蓬仙園		
介護サービスの種類	指定介護老人福祉施設	定員数	90
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠りスキャン [導入台数] 20台		
事業完了日（導入日）	令和 5年 2月 15日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<ul style="list-style-type: none"> ・長期入居定員90名。主に長期入居者20名に設置 ・導入時、現場のスタッフと話し合いを行い、対象者を決定。終末期や昼夜逆転の入居者を対象に眠りスキャンを設置する。 ・違う業務をしながら、ナースコール連動型のスマホでその都度入居者の状態を確認している。 ・実際に、1か月使用して3/17に担当業者来園し、細かな説明を受ける。参加者は、介護職員、機能訓練指導員、施設ケアマネ総勢10名 		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤帯業務が各ユニット1名配置。終末期の方がいると、職員は不安になり、何度となく居室へ訪問していましたが、職員からは「スマホで状況を確認できるのでとても安心です。」と声を聴かれる。 ・夜勤業務に対する精神的・身体的な不安が軽減されました。 ・1か月の入眠データがみれることにより、入居者の入眠傾向がわかった。 		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<ul style="list-style-type: none"> ・眠りスキャンを使用する事で、各個人の入眠データがみれることにより、その方にあったケア(離床、オムツ交換、臥床)ができるようになる為、来年度はそれを下に計画書を作成していく。 ・導入したことにより、介護職員の業務による身体的・精神的な負担は減っています。介護職の定着率アップに繋がりたい。 		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
R4年 5月 9日 ～ 年 5月 31日	業務の状況分析、問題の洗い出し	介護職ほか 1名
R4年 6月 10日 ～ 年 6月 30日	機種選定、導入計画、導入時期の検討	生活相談員
R4年 6月 10日 ～ 年 6月 30日	導入担当者・チーム体制整備検討	生活相談員 ほか5名
R4年 6月 10日 ～ 年 6月 30日	介護職員から意見徴収	生活相談員
R4年 7月 4日 ～ 年 7月 20日	職員の習熟及び教育・研修計画検討	生活相談員
R5年 2月 15日 ～ 年 3月 31日	導入によるケア方法の見直し	介護職ほか 1名
R5年 4月 1日 ～ 年 6月 30日	効果検証の実施	生活相談員
R5年 7月 1日 ～ 年 9月 30日	効果検証の結果に基づいた業務改善の取り組み 検討	生活相談員

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社七日町福祉サービス		
事業所名	介護付有料老人ホームときめき七日町		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護（介護予防）	定員数	40名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 無線LAN一式Wi-Fi [導入台数] 令和5年2月14日 20台		
	[製品名] みてるちゃん2カメラ [導入台数] 令和5年3月9日 4台		
	[製品名] カメラ用10.1タブレット型PC [導入台数] 令和5年3月9日 4台		
	[製品名] バイタルビーツ [導入台数] 令和5年3月9日 4台		
事業完了日（導入日）	令和5年3月9日 <input checked="" type="radio"/>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	・カメラ 居室内で転倒リスクがある入居者居室に設置し、訪室できなくてもタブレットで観察（一人勤務時など）できるようにした。 ・バイタルビーツ 心臓に疾患のある方や失禁しやすい方などのベッドに設置しデータを集積、定期的にデータ分析をおこなう。		

<p>導入効果</p> <p>※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）</p>	<p>・カメラ</p> <p>職員は机上でも様子を窺えることが可能（会話も可能）なので、訪室する時間を短縮できる。</p> <p>行動歴を確認することで事故の予知がある程度でき、安全な動線を確保し転倒防止に役立つ。</p> <p>・バイタルビーツ</p> <p>データ分析で睡眠の浅い深いが把握できる。声掛けするタイミングが計れることでトイレ誘導がしやすく失禁後片付けの減少が期待される。</p> <p>失禁する前にトイレ介助ができるので不快感を生じない。</p>
<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>カメラ・バイタルビーツは台数に限りがある。必要者に対し移動した場合に、撤去された側のデータ取得が継続できなことが残念。</p> <p>次年度以降にも導入計画が必要となるだろうが金銭面で不安がある。</p> <p>バイタルビーツは離床センサーマットではないことに注意すること。</p>

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年7月4日	導入及び機種選定計画の説明	社長他 10名
令和4年7月11日 ～ 8月26日	機種選定（意見聴取）と決定	管理者他 6名
令和4年9月5日 ～ 9月17日	活用方法、使用職員との確認 効果検証担当者を介護リーダーとする	管理者他 6名
	デモ機借り入れは品薄により困難	
令和5年2月14日	無線 LAN 一式設置	業者
令和5年3月9日	みてるちゃん2カメラ納品 タブレット納品 バイタルビーツ納品	業者
令和5年3月10日 ～ 3月13日	機器使用方法研修会	相談員他 介護職員4名

令和5年3月13日	使用開始、検証	介職職員
令和5年3月27日	支払い	

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ寒河江		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護指定事業者	定員数	46名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入台数] 眠り SCAN(5台)、眠り SCAN eye(1台)、PC(1台) スマホ(2台)、施設内ネットワークの構築(一式)		
事業完了日(導入日)	令和5年3月6日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	見守りロボットのために、常に使用する予定です。 特に対象者が室内にいる際、ベッドでの就寝時は特に有効活用出来るかと思えます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	まだ、導入したばかりで本格的に稼働しておりません。まずは、導入した「眠りSCAN」の機能をスタッフに知ってもらい、その機能をどの様に有効利用できるかを考えていっているところです。現時点では導入効果の検証は出来ません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後この課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和3年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。	
令和3年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。	
令和3年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。	
令和3年6月1日～ 令和3年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。	
令和3年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。「眠りSCAN」参考見積を取る。	
令和4年8月1日～ 令和4年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和4年12月21日	交付決定。発注。	
令和5年1月30日	スタッフへアンケート調査	22名
令和5年2月28日	「眠りSCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20名
令和5年3月6日	機器搬入、取扱い説明	4名
令和5年3月13日	機器設置、試験運用	10名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレホーム中桜田		
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護事業所	定員数	29名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入台数] 眠り SCAN(3台)、眠り SCAN eye(1台)、PC(1台) スマホ(1台)、施設内ネットワークの構築(一式)		
事業完了日(導入日)	令和5年3月6日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	見守りロボットのために、常に使用する予定です。 特に対象者が室内にいる際、ベッドでの就寝時は特に有効活用出来るかと思えます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	まだ、導入したばかりで本格的に稼働しておりません。まずは、導入した「眠りSCAN」の機能をスタッフに知ってもらい、その機能をどの様に有効利用できるかを考えていっているところです。現時点では導入効果の検証は出来ません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和3年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。	
令和3年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。	
令和3年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。	
令和3年6月1日～ 令和3年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。	
令和3年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。「眠りSCAN」参考見積を取る。	
令和4年8月1日～ 令和4年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和4年12月21日～	交付決定。発注。	
令和5年1月30日	スタッフへアンケート調査	12名
令和5年2月28日	「眠りSCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20名
令和5年3月6日	機器搬入、取扱い説明	3名
令和5年3月13日～	機器設置、試験運用	10名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ吉原		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護指定事業者	定員数	44名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入台数] 眠り SCAN(4台)、眠り SCAN eye(1台)、PC (1台) スマホ (2台)、施設内ネットワークの構築 (一式)</p>		
事業完了日 (導入日)	令和5年3月3日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<p>見守りロボットのために、常に使用する予定です。 特に対象者が室内にいる際、ベッドでの就寝時は特に有効活用出来るかと思えます。</p>		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<p>まだ、導入したばかりで本格的に稼働しておりません。まずは、導入した「眠りSCAN」の機能をスタッフに知ってもらい、その機能をどの様に有効利用できるかを考えていっているところです。現時点では導入効果の検証は出来ません。</p>		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<p>導入後の課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。</p>		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和3年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。	
令和3年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。	
令和3年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。	
令和3年6月1日～ 令和3年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。	
令和3年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。 「眠りSCAN」参考見積を取る。	
令和4年8月1日～ 令和4年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和4年12月21日	交付決。発注。	
令和5年1月30日	スタッフへアンケート調査	21名
令和5年2月28日	「眠りSCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20名
令和5年3月3日	機器搬入、取扱い説明	3名
令和5年3月13日～	機器設置、試験運用	10名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレホーム西田		
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護事業所	定員数	29名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCANeye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入台数] 眠り SCAN(3台)、眠り SCANeye(1台)、PC (1台) スマホ (1台)、施設内ネットワークの構築 (一式)		
事業完了日 (導入日)	令和5年3月3日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	見守りロボットのために、常に使用する予定です。 特に対象者が室内にいる際、ベッドでの就寝時は特に有効活用出来るかと思えます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	まだ、導入したばかりで本格的に稼働しておりません。まずは、導入した「眠りSCAN」の機能をスタッフに知ってもらい、その機能をどの様に有効利用できるかを考えていっているところです。現時点では導入効果の検証は出来ません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題は「スタッフの無駄な動きの削減」「スタッフの心身負担の軽減」という目標を掲げ「眠りSCAN」を使うことにより、この目標を達成できるようにしていきたい。 また、弊社他施設で先に「眠りSCAN」を導入してうまく運用できている施設があるので、その施設を中心に「眠りSCAN運用委員会」というものを設立し、不定期ではあるが勉強会を実施していく予定です。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和3年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。	
令和3年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。	
令和3年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。	
令和3年6月1日～ 令和3年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。	
令和3年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。 「眠りSCAN」参考見積を取る。	
令和4年8月1日～ 令和4年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。	
令和4年12月21日	交付決定。発注。	
令和4年1月30日	スタッフへアンケート調査	12名
令和5年2月28日	「眠りSCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20名
令和5年3月3日	機器搬入、取扱い説明	5名
令和5年3月13日～	機器設置、試験運用	10名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 天童福祉厚生会		
事業所名	特別養護老人ホーム明幸園		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	100名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[介護ロボット製品名] 眠りスキャン (パラマウントベッド株式会社) 導入台数：20台 [通信環境整備製品名] Wi-Fi 工事 (アクセスポイント増設工事) デジタルインカム (ティービーアイ) 導入台数：10機		
事業完了日 (導入日)	令和5年3月27日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	眠りスキャンは、各ユニット (10ユニット) に2台ずつ設置。対象者は、夜間浅眠の方、睡眠状況を把握したい方、看取り期対応中の方を中心にピックアップし、睡眠データの集約を進めている。 デジタルインカムは、介護職員、看護職員等その他関連職種が常時装着している。職種間の情報共有の円滑化、申し送りの簡素化などの業務効率化に役立っている。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと (介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度など)	眠りスキャン導入により睡眠状況を可視化し、安眠を妨げない見守りと、睡眠状況に合わせた訪室など、個別対応の実践に効果を発揮している。 デジタルインカムの導入により迅速な情報共有が可能となった。特に、少人数体制となる夜勤帯勤務の職員の連絡手段として有効に機能し、業務負担の軽減に大きく寄与している。また、これまで対面式で行っていた夕礼もインカムを活用して非対面式へ移行し、業務の簡素化と効率化が図られている。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	介護ロボット等の機器操作の習熟を図り、介護従事者の負担解消、離職者の減少、ケアの品質維持、この3点の導入目的が達成できるよう適切に運用する。 次年度は、日常業務への効果的な取り込み、睡眠データの有効活用、看取り対応時の職員や家族の不安軽減、これらを重点目標にする。		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人遊佐厚生会		
事業所名	特別養護老人ホームゆうすいユニット型		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	30名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] スマートナースコール あんしんの絆（ユニティーネットワーク） [導入台数] 一式		
事業完了日（導入日）	令和5年3月6日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	完成検査終了までは、これまで使用していたナースコールを使用しながら、新しいナースコールの機器に慣れるように各居室の様子をカメラに映し出していた。2日間に分けてユニティーネットワークの業者の方からレクチャーを受ける。職員から戸惑いはそれ程聞かれず前向きな雰囲気がみられた。使用してから数日は電波が安定しない状況があり、アクセスポイントの設定に微調整を要した。使用から1週間程度経過した頃には問題なく毎日使用している。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	ユニット介護職員にアンケートを実施に効果について検証した。 職員の立場から良い点 ・事故やひやりを未然に防ぐことが出来、原因の究明にも役立つ ・体調の変化や異変に気付き早期に対応できる。安眠や安静を妨げることがない 職員の立場から悪い点 ・操作に慣れず機器を壊すのではないか心配 ・電波状態が不安定な時があったり、他のグループの様子が分からない。 入所者の立場から良い点 ・見守ってもらえている安心感や気づいてもらえる安心がある 入所者の立場から悪い点 ・プライバシーへの配慮がストレスに発展するのではないか心配		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題 ・機器の使用について故障しない工夫と録画面像を閲覧する際のルール作り 次年度計画 ・事故発生率の推移と録画面像の活用状況		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ～ 年 月 日		□□ほか○名
令和3年10月21日	ナースコール更新に係る選定委員を招集し第1回会議を開催。これまでの経緯や近隣施設の状況等を確認し導入に向けてスケジュールを確認	施設長他4名
令和3年10月21日 令和3年11月8日	ナースコール業者よりプレゼンテーション1社 ナースコール業者よりプレゼンテーション2社	業者 3名 職員 5名
令和3年11月16日	第2回会議。3社のプレゼンを聴き、機種選定の話し合いを行う。無線LANは停電時に使用できなくなることから有線の機種を選定。	職員 5名
令和3年12月10日	先進地施設訪問（2施設）。事前質問6項目について確認する。	職員 5名
令和3年12月23日	第3回会議。先進地施設訪問の結果を報告。機種を決定する。	職員 5名
令和4年4月1日 ～令和4年4月30日	施設内における管理責任者を施設長とし、設置ルール。利用者より同意書案を作成。	職員 6名
令和4年8月10日	すでにWi-Fi環境が一部整備されており、その際の設置業者とナースコール取扱い業者、施設担当者との間で打ち合わせを行う。参考見積りを受けとる。	業者側 3名 施設側 2名
令和4年9月2日	業者3社にナースコール設備工事見積依頼提出	
令和4年9月16日	理事長を交え、見積合わせを行い最低価格業者を決定し通知を郵送。	
令和4年9月28日	法人の第3回理事会に議案として提出。承認を受ける。	理事 7名 監事 2名
令和4年10月1日 ～令和4年10月31日	家族へ導入についての説明文書を配布。個別計画を策定し同意書をいただく、	職員 6名
令和4年12月21日	山形県より補助金の交付決定通知をいただく。	
令和5年1月20日	工事業者との契約取り交わし。	
令和5年1月21日 ～令和5年1月27日	配線工事。	
令和5年2月15日 ～令和5年3月2日	カメラ取り付け等、その他の工事。	
令和5年2月27日 ～令和5年2月28日	カメラ付きナースコールについて、メーカー担当者より説明会を行い機能の習熟。出席できない職員は随時伝達で周知。	職員 3名 職員 9名
令和5年3月3日	業者より完成通知書、引渡書を頂く	
令和5年3月6日	完成検査実施。	業者 4名 職員 2名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人遊佐厚生会		
事業所名	ショートスティゆうすいユニット型		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	5名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] スマートナースコール あんしんの絆（ユニティーネットワーク） [導入台数] 一式		
事業完了日（導入日）	令和5年3月6日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	完成検査終了までは、これまで使用していたナースコールを使用しながら、新しいナースコールの機器に慣れるように各居室の様子をカメラに映し出していた。2日間に分けてユニティーネットワークの業者の方からレクチャーを受ける。職員から戸惑いはそれ程聞かれず前向きな雰囲気が見られた。使用してから数日は電波が安定しない状況があり、アクセスポイントの設定に微調整を要した。使用から1週間程度経過した頃には問題なく毎日使用している。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	ユニット介護職員にアンケートを実施に効果について検証した。 職員の立場から良い点 ・画面に氏名がでるので対応しやすい ・居室の様子や行動が把握できるので、安眠や安静を妨げることがない 職員の立場から悪い点 ・操作に慣れず機器を壊すのではないか心配 ・コールボタンを押してもランプがつかないので、何回も押してしまう傾向がある 入所者の立場から良い点 ・反応が早くなったので、訪室が早くなった。 入所者の立場から悪い点 ・利用者への説明が不十分		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題 ・機器の使用について故障しない工夫と録画面像を閲覧する際のルール作り 次年度計画 ・事故発生率の推移と録画面像の活用状況		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
2022年8月2日	介護ロボット機器について販売業者からのヒアリング、説明を受け、対象機器（パラマウント眠りスキャン）を選定 併せて、施設内の通信環境を確認し Wi-Fi 工事の必要性を確認する。インカム機器についても選定	施設長ほか2名
2023年1月18日	無線 LAN 工事(アクセスポイント増設)を、東北電化工業株式会社に発注	
2023年2月20日	無線 LAN 工事(アクセスポイント増設)打ち合わせ	施設長ほか1名
2023年2月21日 ～2023年2月28日	無線 LAN 配線工事の実施	
2023年3月1日	眠りスキャン及びデジタルインカムを、岡崎医療株式会社に発注	
2023年3月14日	眠りスキャン導入に伴う通信状況確認、接続 IP アドレスの確認、サーバー設置の確認 等	施設長ほか3名
2023年3月27日	眠りスキャン、インカム機器等設置 ソフトインストール作業・サーバー設置作業・通信確認。 取扱い説明を受け、運用を開始する	施設長ほか4名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ～ 年 月 日		□□ほか○名
令和3年10月21日	ナースコール更新に係る選定委員を招集し第1回会議を開催。これまでの経緯や近隣施設の状況等を確認し導入に向けてスケジュールを確認	施設長他4名
令和3年10月21日 令和3年11月8日	ナースコール業者よりプレゼンテーション1社 ナースコール業者よりプレゼンテーション2社	業者 3名 職員 5名
令和3年11月16日	第2回会議。3社のプレゼンを聴き、機種選定の話し合いを行う。無線LANは停電時に使用できなくなることから有線の機種を選定。	職員 5名
令和3年12月10日	先進地施設訪問（2施設）。事前質問6項目について確認する。	職員 5名
令和3年12月23日	第3回会議。先進地施設訪問の結果を報告。機種を決定する。	職員 5名
令和4年4月1日 ～令和4年4月30日	施設内における管理責任者を施設長とし、設置ルール。利用者より同意書案を作成。	職員 6名
令和4年8月10日	すでにWi-Fi環境が一部整備されており、その際の設置業者とナースコール取扱い業者、施設担当者との間で打ち合わせを行う。参考見積りを受けとる。	業者側 3名 施設側 2名
令和4年9月2日 令和4年9月16日	業者3社にナースコール設備工事見積依頼提出 理事長を交え、見積合わせを行い最低価格業者を決定し通知を郵送。	
令和4年9月28日	法人の第3回理事会に議案として提出。 承認を受ける。	理事 7名 監事 2名
令和4年10月1日 ～令和4年10月31日	家族へ導入についての説明文書を配布。個別計画を策定し同意書をいただく、	職員 6名
令和4年12月21日	山形県より補助金の交付決定通知をいただく。	
令和5年1月20日	工事業者との契約取り交わし。	
令和5年1月21日 ～令和5年1月27日	配線工事。	
令和5年2月15日 ～令和5年3月2日	カメラ取り付け等、その他の工事。	
令和5年2月27日 ～令和5年2月28日	カメラ付きナースコールについて、メーカー担当者より説明会を行い機能の習熟。出席できない職員は随時伝達で周知。	職員 3名 職員 9名
令和5年3月3日	業者より完成通知書、引渡書を頂く	
令和5年3月6日	完成検査実施。	業者 4名 職員 2名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 碧水会		
事業所名	特別養護老人ホームらふらんす大江		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	92
(介護ロボットの製品名) 通信環境整備の製品名 導入時期及び台数	[製品名] ○メーカー (株) バイオシルバー製 aams. 介護本体 DO18-AAMSK 20 台 NC ケーブル CC14 BO15-BSR03NCC 20 本 分配器 WELL タイプ BB-301WZ-2P/W6P-NC 20 台 介護用感圧センサー B018-PSS01 10 台 AXIS 製ネットワークカメラ (無線) M1065-LW 10 台 ネットワークカメラ用 SD カード AXIS 純正 10 枚 タブレット PC-T1175BAS 4 台 管理マスターサーバー L11-20NUCMS03 1 台 設定・設置費 1 式 [導入時期] 令和5年3月14日 [導入台数] 20台		
	[製品名] ○メーカー (株) バッファロー製 法人向け管理者機能搭載無線アクセスポイント WAPM-1266R 37 台 レイヤー2GigaPoE スマートスイッチ 8ポート BS-GS2008P 3 台 レイヤー2GigaPoE スマートスイッチ 16ポート BS-GS2016P 4 台 ネットワーク工事費 1 式 キットアップ作業着 1 式 [導入時期] 令和5年2月27日 [導入台数] 1式		
事業完了日 (導入日)	令和5年3月14日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○ 購 入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	○利用者の急な状態変化をアラート通知され、また毎日の睡眠状態の記録を残すことも出来るため、体調・生活状況の管理を強化でき個別のケアが実現可能。 ○夜間時のアラート発生時の居室の様子を映像で確認でき、緊急性があるかどうか瞬時に確認できる。		

<p>導入効果</p> <p>※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）</p>	<p>○映像カメラ及びタブレット等を導入することにより、利用者のバイタルチェックを、映像と記録で科学的に判断することができ、効率的介護やアラート発生時の居室の様子を映像を確認でき緊急性があるか瞬時の判断をすることができた。</p> <p>○モニターで状態確認ができるため、夜間時の訪室業務の負担軽減、介護者のストレス軽減に繋がった。</p> <p>○対象者の状態を理解することにより、必要な措置・サービス提供を素早く判断でき、介護サービス提供の目的・行動が明確になり労働意欲が増した。</p> <p>○アラート発生時の居室の様子を映像で確認でき、緊急性があるかどうか瞬時に確認できて、職員の不安を解消できた。</p> <p>○頻繁に居室に訪問する必要がなくなり、感染症の拡散防止や、業務の効率化は図れた。</p> <p>○映像、記録データを保存するデジタル化により、効率的に時間を費やすことができ、日誌等の記録も一元化につながり、他の介護業務に時間かけることができた。</p>
<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜勤時の見守りの効率化。 ・転倒リスクの回避。

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
R4年6月1日 ～R4年8月23日	担当者会議及び主任会議にて業務状況の確認と問題点の洗い出しを行った。 特に夜間の見守り負担が大きく肉体的より精神的負担増。予期せぬ行動をされる方、転倒・転落リスクの高い方のヒヤリハットの対策が必要。	事務局長 ほか5名
R4年6月1日 ～R4年8月23日	機種選定・導入計画の検討を行った結果、見守り介護ロボットを導入し利用者の心拍・呼吸・体動・睡眠状態を確認できる機種とする。また、見守り介護ロボットと連動するカメラと離床センサーを併用し、転倒リスクが高い方はプライバシーを考慮しながらタブレットで利用者の状況を瞬時に把握できるようにする。また記録も残すことで検証が可能になり解決策の検討に役立てる。	事務局長 ほか5名
R4年6月1日 ～R4年8月23日	導入担当者は事務局長が行い、ターミナル期の方・体調を崩された方・転倒リスクが高い方・入所されたばかりの方をメインに使用し、バイタル状況の把握と行動把握により必要な措置・サービス提供を素早く判断する。 効果検証の各担当者は総括主任及び主任が担当し定期的な報告会をもって情報共有・課題検討を行う。	事務局長 ほか5名
R4年6月1日 ～R4年8月23日	実際に機器を使用する者の意見聴取方法は、各棟のミーティング内で行い、介護ロボットに関する報告書も検討する。	事務局長 ほか5名
R5年1月26日 ～R5年3月14日	交付決定後、Wi-Fi工事及び導入機器の発注を行う。 Wi-Fi工事が完了次第、見守り介護ロボットを導入し、ランニング（調整）を行う。	事務局長 ほか5名
R5年3月14日 ～R5年3月31日	導入後、メーカーによる研修会を数回に分けて行い関係する職員が参加できるようにして習熟する。マニュアル整備を行い、メーカーのお客窓口のサポートも活用する。	事務局長 ほか5名
R5年3月14日 ～R5年3月31日	見守り機器で得られた状態変化の通知や睡眠状態の記録から利用者の体調・生活状況の管理を強化し個別ケアに繋げる。夜間の訪室業務の負担軽減、介護者の先進的ストレス軽減に繋げ安心して就業できる職場環境の構築を目指す。	総括主任 ほか6名
R6年4月末日 ～R8年4月末日	効果の検証を毎年行い、業務状況の確認と問題点を洗い出し、見守り介護ロボットのメリットを最大限活かすための使用計画を検討・修正する。	総括主任 ほか6名
R6年4月末日 ～R8年4月末日	効果検証に基づき業務改善の取り組みを検討する。 1年目：利用者の見守り、特に夜間時の利用者の情報把握並びに転倒・転落事故を未然に防ぐ体制作り 2年目：1年目で得られた情報を元に各職員の共通情報として各職員のスキルの標準化を図る。データを活用した見守り体制作り。 3年目：2年目迄に得られた情報を基に職員の訪室業務の負担軽減・ストレス軽減に繋げ安心して就業できる職場環境を構築する。	事務局長 ほか5名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定介護老人福祉施設(ユニット型) 【事業所番号:0670801737】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	44名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]見守りカメラ連動式無線ナースコールあんしんの絆 バイタルセンサー(2台)離床センサー(15台)ビューワPC(4台)スマートフォン(13台)ネットワークカメラ(44台)管理サーバー接続変換機(離床センサー)(15台)Wi-Fiゲートウェイ(4台)ワイヤレスインターフェースボックス(15台)ビューワPCディスプレイ(4台)レピーター(4台)PoEスプリッタ(44個)マットセンサーコネクタプラグ(15台) HUB(48ポート/内PoE48ポート)(1台) HUB(16ポート/内PoE16ポート)(1台) 見守り機器通信環境整備一式 [導入時期] 令和5年3月20日</p>		
事業完了日(導入日)	令和5年3月20日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<ul style="list-style-type: none"> ・常時介護員が携帯電話を装着し、センサーやナースコールなど迅速に利用者対応ができています。 ・職員間の連絡もスムーズに行え、情報共有につながっている。 ・バイタルセンサーは看取り利用者に使用し、呼吸や心拍数の異常などアラームで知ることができ、異常を早く気づくことができる。 		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<ul style="list-style-type: none"> ・離れた場所からでも見守りができ、優先的に危険な利用者対応ができる。 ・介護職員の精神的ストレスの緩和、身体的負担の軽減にもなっている。 ・夜間不必要な居室対応が軽減、利用者の良眠につながっている。 ・急変時の早期発見と危険予知ができています。 		

導入後の課題や次年度計画の確認等	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ作動時の記録や様子を共有し、事故、危険防止に繋げる。 ・新機種導入後に負担軽減の有無について聞き取りを行い検討する。 ・利用者の生活リズムの把握を行い、他部署と情報共有し個別ケアにつなげる。 ・夜間利用者の睡眠リズムを把握し、日中の活性化につなげる。 ・夜間業務の改善。 ・WiFi 不具合の調整。
------------------	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和元年 9 月 13 日 ～元年 10 月 14 日	<p>福祉機器導入検討委員会発足 令和元年福祉機器導入委員会について 第一回 夜間帯の事故が多く、職員の不安軽減になるような見守りセンサー等について。また PHS など連動し何処で鳴っているか手元でわかり、職員間の連絡もスムーズに行える機器を希望したいなど意見が出た。 ※職員へ福祉機器導入についてアンケート実施。</p> <p>第二回 アンケート結果について、職員の要望等の把握を行い検討。また最新の福祉機器導入施設へ出向き見学等の案もでた。</p> <p>第三回 職員研修旅行で福祉機器メーカーのイベントへ参加した職員より、ナースコール連動型見守り機器がありその資料を集める。</p> <p>R 元.10.15～3 ヶ月</p>	園長 園長代理 職員 5 名
令和 2 年 1 月 17 日 ～2 年 11 月 6 日	<p>令和 2 年福祉機器導入委員会について 第一回 ナースコール連動型見守り機器使用調査の結果報告。 12/11 山形福祉機器展に全委員が視察し様々な機器の説明を受けた。それに伴い導入福祉機器の検討を行う</p> <p>第二回 多くの福祉機器が存在しているため、機器の説明会を行いアンケート調査により機器を選定する。 ※R2.10/28.29.30.11/2 に職員説明会実施</p> <p>第三回 福祉機器導入職員説明会についての報告。 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援、介護業務支援、見守り機器導入に伴う通信環境整備、ICT 機器について商品説明を行った。 職員アンケート結果についての報告。</p>	園長 園長代理 職員 6 名

	アンケートを行い、現場で働く介護職員が福祉機器を導入することで、仕事や心身の負担軽減や改善できることが明確になった。	
令和3年1月20日～3年8月12日	<p>令和3年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 LAN配線工事についての報告。 Wi-Fi設定についての報告。</p> <p>第二回 Wi-Fi工事等の進行状況について報告。</p> <p>第三回 Wi-Fi設備が整い今年度導入する方向性とする。 ※福祉機器を絞り見積もりを依頼。 ※R3.5/20.7/7.14業者よりリモート説明会実施する。 「眠りscan」「ココヘルパー」「安心の絆」 7/20「あんしんの絆」使用施設に出向き使用状況や設置に関することを直接伺い、また実際現場での使用状況の見学を行う。</p> <p>第四回 福祉機器使用施設見学の報告及び導入器機の最終選定。 「あんしんの絆」導入を決定し、居室カメラやスマートフォンの台数、設置場所の検証等話し合う。またバイタルセンサーや見守りセンサー、離床センサーの設置台数を検討し業者へ見積もりを依頼する。</p>	施設長 施設次長 職員4名 業者
令和3年9月1日	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名
令和3年10月～ 12月31日	補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。	施設長 職員2名
令和4年3月1日	施設内で発生した新型コロナウイルス感染により、工事を期限内に完了させることが難しくなったため事業中止とし、県より承認を得る。	施設長 事務局長
令和4年7月28日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名 業者
令和4年11月7日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の内示	
令和4年11月10日	居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る	

令和4年11月28日	理事会にて入札方式の決定	理事 監事
令和4年12月21日	山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の交付決定	
令和4年12月26日	ホームページにて入札公示	
令和5年1月25日	特別養護老人ホーム寿康園内「見守りシステム」設置 工事入札	理事 監事 常務 施設長 事務局長 事務員 業者
令和5年1月27日	工事業者と契約を取り交わす	事務局長 施設長
令和5年1月27日～ 3月20日	導入工程は別紙参照	業者
令和5年2月20日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年2月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月1日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月15日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月20日	工事完了。	事務局長 施設長 業者
令和5年3月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月24日	完成検査	事務局長 施設長 業者

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定介護老人福祉施設(従来型) 【事業所番号:0673200267】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	36名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名]見守りカメラ連動式無線ナースコールあんしんの絆 バイタルセンサー(1台)離床センサー(15台)ビューワPC(2台) スマートフォン(10台)ネットワークカメラ(36台)管理サーバー Wi-Fiゲートウェイ(2台)接続変換機(離床センサー)(15台) ワイヤレスインターフェースボックス(15台)ビューワPC ディスプレイ(2台)レピーター(2台)PoEスプリッタ(37個) マットセンサーコネクタプラグ(15台) HUB(24ポート/内PoE24ポート)(1台) HUB(16ポート/内PoE16ポート)(1台) 見守り機器通信環境整備一式 [導入時期] 令和5年3月20日		
事業完了日(導入日)	令和5年3月20日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<ul style="list-style-type: none"> ・常時介護員が携帯電話を装着し、センサーやナースコールなど迅速に利用者対応ができています。 ・職員間の連絡もスムーズに行え、情報共有につながっている。 ・バイタルセンサーは看取り利用者に使用し、呼吸や心拍数の異常などアラームで知ることができ、異常を早く気づくことができる。 		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<ul style="list-style-type: none"> ・離れた場所からでも見守りができ、優先的に危険な利用者対応ができる。 ・介護職員の精神的ストレスの緩和、身体的負担の軽減にもなっている。 ・夜間不必要な居室対応が軽減、利用者の良眠につながっている。 ・急変時の早期発見と危険予知ができています。 		

<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ作動時の記録や様子を共有し、事故、危険防止に繋げる。 ・新機種導入後に負担軽減の有無について聞き取りを行い検討する。 ・利用者の生活リズムの把握を行い、他部署と情報共有し個別ケアにつなげる。 ・夜間利用者の睡眠リズムを把握し、日中の活性化につなげる。 ・夜間業務の改善。 ・WiFi 不具合の調整。
-------------------------	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
<p>令和元年 9 月 13 日 ～元年 10 月 14 日</p>	<p>福祉機器導入検討委員会発足 令和元年福祉機器導入委員会について 第一回 夜間帯の事故が多く、職員の不安軽減になるような見守りセンサー等について。また PHS など連動し何処で鳴っているか手元でわかり、職員間の連絡もスムーズに行える機器を希望したいなど意見が出た。 ※職員へ福祉機器導入についてアンケート実施。 第二回 アンケート結果について、職員の要望等の把握を行い検討。また最新の福祉機器導入施設へ出向き見学等の案もでた。 第三回 職員研修旅行で福祉機器メーカーのイベントへ参加した職員より、ナースコール連動型見守り機器がありその資料を集める。 R 元.10.15～3 ヶ月</p>	<p>園長 園長代理 職員 5 名</p>
<p>令和 2 年 1 月 17 日 ～2 年 11 月 6 日</p>	<p>令和 2 年福祉機器導入委員会について 第一回 ナースコール連動型見守り機器使用調査の結果報告。 12/11 山形福祉機器展に全委員が視察し様々な機器の説明を受けた。それに伴い導入福祉機器の検討を行う 第二回 多くの福祉機器が存在しているため、機器の説明会を行いアンケート調査により機器を選定する。 ※R2.10/28.29.30.11/2 に職員説明会実施 第三回 福祉機器導入職員説明会についての報告。 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援、介護業務支援、見守り機器導入に伴う通信環境整備、ICT 機器について商品説明を行った。 職員アンケート結果についての報告。 アンケートを行い、現場で働く介護職員が福祉機器を導入することで、仕事や心身の負担軽減や改善できる</p>	<p>園長 園長代理 職員 6 名</p>

	ことが明確になった。	
令和3年1月20日～3年8月12日	<p>令和3年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 LAN配線工事についての報告。 Wi-Fi設定についての報告。</p> <p>第二回 Wi-Fi工事等の進行状況について報告。</p> <p>第三回 Wi-Fi設備が整い今年度導入する方向性とする。 ※福祉機器を絞り見積もりを依頼。 ※R3.5/20.7/7.14業者よりリモート説明会実施する。 「眠りscan」「ココヘルパー」「安心の絆」 7/20「あんしんの絆」使用施設に出向き使用状況や設置に関することを直接伺い、また実際現場での使用状況の見学を行う。</p> <p>第四回 福祉機器使用施設見学の報告及び導入器機の最終選定。 「あんしんの絆」導入を決定し、居室カメラやスマートフォンの台数、設置場所の検証等話し合う。またバイタルセンサーや見守りセンサー、離床センサーの設置台数を検討し業者へ見積もりを依頼する。</p>	<p>施設長 施設次長 職員4名 業者</p>
令和3年9月1日	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名
令和3年10月～12月31日	補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。	施設長 職員2名
令和4年3月1日	施設内で発生した新型コロナウイルス感染により、工事を期限内に完了させることが難しくなったため事業中止とし、県より承認を得る。	施設長 事務局長
令和4年7月28日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名 業者
令和4年11月7日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の内示	
令和4年11月10日	居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る	
令和4年11月28日	理事会にて入札方式の決定	理事 監事
令和4年12月21日	山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の交付決定	
令和4年12月26日	ホームページにて入札公示	
令和5年1月25日	特別養護老人ホーム寿康園内「見守りシステム」設置工事入札	理事 監事

		常務 施設長 事務局長 事務員 業者
令和5年1月27日	工事業者と契約を取り交わす	事務局長 施設長
令和5年1月27日 ~ 3月20日	導入工程は別紙参照	業者
令和5年2月20日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年2月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月1日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月15日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月20日	工事完了。	事務局長 施設長 業者
令和5年3月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月24日	完成検査	事務局長 施設長 業者

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定短期入所生活介護事業所 【事業所番号：0673200119】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	16名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]見守りカメラ連動式無線ナースコールあんしんの絆 離床センサー（10台）ネットワークカメラ（16台）管理サーバ スマートフォン（6台）ビューワPC（1台）Wi-Fiゲートウェイ（1 台）接続変換機（離床センサー）（10台）HUB(5ポート)（1台） ワイヤレスインターフェースボックス（10台）ビューワPCディス プレイ（1台）レピーター（1台）PoEスプリッタ（16個）マッ トセンサーコネクタプラグ（10台） HUB(16ポート/内PoE 16ポート)（1台） 見守り機器通信環境整備一式 [導入時期] 令和5年3月20日</p>		
事業完了日（導入日）	令和5年3月20日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度 等）	<ul style="list-style-type: none"> ・常時介護員が携帯電話を装着し、センサーやナースコールなど迅速に利用者対応ができています。 ・職員間の連絡もスムーズに行え、情報共有につながっている。 ・バイタルセンサーは看取り利用者に使用し、呼吸や心拍数の異常などアラームで知ることができ、異常を早く気づくことができる。 		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	<ul style="list-style-type: none"> ・離れた場所からでも見守りができ、優先的に危険な利用者対応ができる。 ・介護職員の精神的ストレスの緩和、身体的負担の軽減にもなっている。 ・夜間不必要な居室対応が軽減、利用者の良眠につながっている。 ・急変時の早期発見と危険予知ができています。 		

<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ作動時の記録や様子を共有し、事故、危険防止に繋げる。 ・新機種導入後に負担軽減の有無について聞き取りを行い検討する。 ・利用者の生活リズムの把握を行い、他部署と情報共有し個別ケアにつなげる。 ・夜間利用者の睡眠リズムを把握し、日中の活性化につなげる。 ・夜間業務の改善。 ・WiFi 不具合の調整。
-------------------------	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
<p>令和元年 9 月 13 日 ～元年 10 月 14 日</p>	<p>福祉機器導入検討委員会発足 令和元年福祉機器導入委員会について 第一回 夜間帯の事故が多く、職員の不安軽減になるような見守りセンサー等について。また PHS など連動し何処で鳴っているか手元でわかり、職員間の連絡もスムーズに行える機器を希望したいなど意見が出た。 ※職員へ福祉機器導入についてアンケート実施。 第二回 アンケート結果について、職員の要望等の把握を行い検討。また最新の福祉機器導入施設へ出向き見学等の案もでた。 第三回 職員研修旅行で福祉機器メーカーのイベントへ参加した職員より、ナースコール連動型見守り機器がありその資料を集める。 R 元.10.15～3 ヶ月</p>	<p>園長 園長代理 職員 5 名</p>
<p>令和 2 年 1 月 17 日 ～2 年 11 月 6 日</p>	<p>令和 2 年福祉機器導入委員会について 第一回 ナースコール連動型見守り機器使用調査の結果報告。 12/11 山形福祉機器展に全委員が視察し様々な機器の説明を受けた。それに伴い導入福祉機器の検討を行う 第二回 多くの福祉機器が存在しているため、機器の説明会を行いアンケート調査により機器を選定する。 ※R2.10/28.29.30.11/2 に職員説明会実施 第三回 福祉機器導入職員説明会についての報告。 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援、介護業務支援、見守り機器導入に伴う通信環境整備、ICT 機器について商品説明を行った。 職員アンケート結果についての報告。 アンケートを行い、現場で働く介護職員が福祉機器を導入することで、仕事や心身の負担軽減や改善できる</p>	<p>園長 園長代理 職員 6 名</p>

	ことが明確になった。	
令和3年1月20日～3年8月12日	<p>令和3年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 LAN配線工事についての報告。 Wi-Fi設定についての報告。</p> <p>第二回 Wi-Fi工事等の進行状況について報告。</p> <p>第三回 Wi-Fi設備が整い今年度導入する方向性とする。 ※福祉機器を絞り見積もりを依頼。 ※R3.5/20.7/7.14業者よりリモート説明会実施する。 「眠りscan」「ココヘルパー」「安心の絆」 7/20「あんしんの絆」使用施設に出向き使用状況や設置に関する事を直接伺い、また実際現場での使用状況の見学を行う。</p> <p>第四回 福祉機器使用施設見学の報告及び導入器機の最終選定。 「あんしんの絆」導入を決定し、居室カメラやスマートフォンの台数、設置場所の検証等話し合う。またバイタルセンサーや見守りセンサー、離床センサーの設置台数を検討し業者へ見積もりを依頼する。</p>	<p>施設長 施設次長 職員4名 業者</p>
令和3年9月1日	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名
令和3年10月～12月31日	補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。	施設長 職員2名
令和4年3月1日	施設内で発生した新型コロナウイルス感染により、工事を期限内に完了させることが難しくなったため事業中止とし、県より承認を得る。	施設長 事務局長
令和4年7月28日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長 職員2名 業者
令和4年11月7日	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の内示	
令和4年11月10日	居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る	
令和4年11月28日	理事会にて入札方式の決定	理事 監事
令和4年12月21日	山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の交付決定	
令和4年12月26日	ホームページにて入札公示	
令和5年1月25日	特別養護老人ホーム寿康園内「見守りシステム」設置工事入札	理事 監事

		常務 施設長 事務局長 事務員 業者
令和5年1月27日	工事業者と契約を取り交わす	事務局長 施設長
令和5年1月27日 ~ 3月20日	導入工程は別紙参照	業者
令和5年2月20日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年2月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月1日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月15日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月20日	工事完了。	事務局長 施設長 業者
令和5年3月22日	職員へ機器操作勉強会を行う。	職員
令和5年3月24日	完成検査	事務局長 施設長 業者

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。